



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2013 8



7月5日（金）、兵庫県民会館において「兵庫JCC創立30周年記念 第91回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」を開催。県内の生協・農協（JA）・漁協（JF）・森林組合（JForest）の組合員や役職員をはじめ、約360人がつどいました。第1部では4団体を代表し、JA兵庫中央会の石田 正 会長が挨拶されました。（関連記事P.3）



神戸市民生活協同組合 専務理事
兵庫県生活協同組合連合会 理事

眞田 尚
(さなだ・ひさし)

新たな旅立ちに思う

当組合は1955年（昭和30年）3月に消費生活協同組合法を活用して、予期せぬ火災の災害保障を消費者の相互扶助の精神で行おうという考えのもとに発足したものであります。

その後、時代の流れに乗り、あるいは神戸市民のニーズに応えるべく、交通共済や、医療共済など助け合いの原点を踏まえた事業を展開してまいりました。

そして当組合の事業基盤を強固にすることを目的とした各種関連事業の展開は、まさに当組合の特徴的な歴史で、人材育成にも繋がったであろうことは言うまでもありません。舞子ビラの管理運営や、神戸タワーサイドホテルの運営、さらには、結婚式場の運営や、そこから発展した観光事業と異人館の運営などがあり、加えて駐車場事業など自在の発想に基づく組合運営をしてまいりました。

しかし、生協法の改正で兼業が禁止となり本年4月より共済事業のみで消費者の信頼に依えていかなければならなくなりました。

保険会社はじめ大きな組織に伍して組合員の期待に添えていくことは並大抵のことではないと自覚しております。しかし必ずより身近でより加入しやすい商品の開発は可能であると思えますし、そこそが我々生協の生きる道であると信じております。

東日本大震災が起きて早や2年が過ぎて東北地方の復興の状況を見ると、私たち阪神淡路大震災を経験したものとしては18年前を思い出して他人事ではない思いに駆られます。

当時私は、新長田の再開発事業の一環としてできた神戸デパート（神戸都市振興株式会社）に出向しておりましたが、以前に火災を起こしていたこともあり、弱っていたビルの柱は地震により座屈してしまい、ビル全体を解体せざるを得ない状況でした。奇跡的に延焼を免れたビルを除き周辺は火災でほとんど何もなくなってしまう、会社の存続も含めて、大きな方針変換を余儀なくされたわけであります。

その中で、従業員、テナント、地権者、神戸市などの関係者と協議を進めながら会社の新たな方向を決め進めて行きました。

結果的には、会社は清算し、社員は市関係の団体に転籍し、跡地はいま復興再開ビルになっています。元通りにならない以上、状況に応じて新たな対応を模索していかなければならないのは当たり前であります。

同様に法の改正を受け当組合も本業での発展に、これから必死で取り組んで行くこととなります。ご支援のほどお願いします。

CONTENTS

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 2. 想点 3. 兵庫JCC創立30周年記念 第91回国際協同組合デー・兵庫県記念大会報告 4. 単協通信 姫路医療生活協同組合／ たじま医療生活協同組合 5. 単協通信 神戸市民生活協同組合／ 「兵庫におけるポスト国際協同組合年を考える集い」のご案内 | <ul style="list-style-type: none"> 6. 協同組合のかけ橋 7. 兵庫県のページ 8. 「地球のステージ～未来へともに」のご案内／ 県連日誌／編集後記 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

国際協同組合デー 兵庫県記念大会を開催

テーマ『協同の力で未来を拓く』
～協同組合がよりよい社会を築きます～



7月5日(金)兵庫県民会館 けんみんホールにおいて、兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)を組織する生協、農協、漁協、森林組合の主催により「兵庫JCC30周年記念第91回国際協同組合デー・兵庫県記念大会」が開催されました。

世界の協同組合に携わる人々が、平和とよりよい生活を築くために運動の前進を誓い合う「国際協同組合デー」は、毎年7月の第1土曜日と定められており、兵庫県では毎年7月の第1金曜日に開催しています。また同日に、第30回兵庫JCC委員会が併せて開催され、各協同組合(連合会)のトップが参加し、活動報告および年度方針の確認、意見交換などを行いました。当日は、富永裕子さん(兵庫県漁業協同組合連合会)の司会で開幕。兵庫県、神戸市をはじめ多くのご来賓の皆様をはじめ、合わせて360名が参加。会場は満席になりました。

第一部の記念式典では、主催4団体を代表して兵庫県農業協同組合中央会・石田正会長(兵庫県協同組合連絡協議会副会長)が挨拶。続いて、兵庫県農政環境部部長伊藤聡様、神戸市産業振興局長谷口時寛様からご祝辞をいただきました。

最後に、生活クラブ生活協同組合都市生活理事長山下尚子様が「第91回国際協同組合デー 兵庫JCC宣言」を読み上げ、満場一致で採択されました。

第二部では、アニメを通して自然環境に関心を持つてほしいと結成された「メダカのコタロー劇団」が「みんなで里海を守ろう!」海はみんなのもの、森も川もため池も田んぼも山もみんなのもの」をテーマに公演。

続いて、二宮金次郎(尊徳)より7代目子孫、現在、国際二宮尊徳思想学会常務理事、関西学院大学講師の中桐万里子様が一ツなごう 新しい明日へ」をテーマに記念講演。農村復興の指導者であった金次郎の人柄にふれ、「人間には、知恵と、工夫」という素晴らしい力がある」と話され、会場の参加者は熱心に聞き入り、楽しいひとときを過ごしました。



かわいいキャラクターが登場するメダカのコタロー劇団



JCC宣言を読み上げる
生活クラブ都市生活
山下 尚子 理事長



講演される
中桐 万里子 様



神戸市産業振興局
谷口 時寛 局長



兵庫県農政環境部
伊藤 聡 部長

第91回国際協同組合デー兵庫JCC宣言

2013年、兵庫JCCは創立30周年を迎えます。これまでの30年の歩みの中に、平和とよりよい生活をめざす協同組合運動の理念、全国の協同組合運動ならびに海外協同組合運動との連携などを再確認し、改めて、ここに協同組合関係者の団結を呼びかけます。

東日本大震災と福島原発事故から2年が過ぎました。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。発災以来、私たち協同組合関係者は事業と活動を通じて様々な被災地支援活動に取り組みました。今後も被災地に寄り添い息の長い支援活動を進めてまいります。

今日、世界人口は70億人を超え、10億人以上が飢餓に苦しみ、食糧、環境、平和に関する持続可能な国際社会には程遠い状況です。国連はこのような状況に対して、「協同組合がよりよい経済・社会の建設に大きく貢献できる」と評価し、その発展を各国政府と国民に訴えるため2012年を国際協同組合年に定めました。

私たちは国連決議の期待に応えるため、東日本大震災被災地での地域コミュニティの再生、高齢者単身世帯の孤立防止、エネルギー・環境問題、自然災害への備えなどについて取り組みました。2013年以降も自立と連帯の精神を礎に、協同組合間連携による助け合いのネットワークを広げていかなければなりません。

本日、第91回国際協同組合デー・兵庫県記念大会の開催にあたり、生協、農協、漁協、森林組合など兵庫県内の協同組合に集う私たちは、ともに生きる社会を前進させるとともに、「協同の力で未来を切り拓く」をスローガンに、協同組合運動の発展をめざし、一層努力していくことをここに宣言します。

2013年7月5日 兵庫JCC創立30周年記念第91回国際協同組合デー兵庫県記念大会



併せて開催された「第30回兵庫JCC委員会」

兵庫JCC =
兵庫県協同組合連絡協議会 = とは
【Hyogo-ken Joint Committee of
Co-operatives】

兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)は、兵庫県下の生協、JA(農協)、JF(漁協)、JForest(森林組合)の4協同組合の相互交流と連携強化を目的に、第62回(1984年)の協同組合デーを機に設立したもので、本年で30周年を迎えました。

姫路医療生活協同組合

『福祉介護センターめが』オープン！

6月27日に開所式

2012年度事業として建設を進めてきた『福祉介護センターめが』がついに完成しました。『めが』の1階は小規模多機能ホーム、2階と3階は姫路医療生協では初めてのグループホームです。

6月27日（木）に現地で開所式を行い、約250人が訪れました。

記念式典では荻野俊夫理事長の挨拶の後、地元自治会長と、近隣の飾磨高等学校の校長から祝賀の挨拶を頂きました。その後テープカット、和太鼓サークル『ほこほこ』による太鼓の演奏とつづき、会場の祝賀ムードは高まりました。



『福祉介護センターめが』が、地域のコミュニティとしての役割を担い、相互連携に

よって地域社会の発展に貢献することを、地域のみなさまから期待されていると実感できた開所式でした。



式典終

了後は施設の見学会となり、参加者は、小規模多機能ホームのデイルームや宿泊室、グループホームの明るい居室や、落ち着いた雰囲気のリビング、特殊浴槽を備えた浴室、広いテラスなどを、『めが』のスタッフの説明のもと、じっくりと見て回りました。

7月1日のオープン初日は、グループホーム入所者の方々の引越越し作業でスタートしました。

（通信員 岡田佐織）

たじま医療生活協同組合

2013年支部対抗

グラウンドゴルフ大会開催

6月28日（金）豊岡市土洲の円山川運動公園で、2013年支部対抗グラウンドゴルフ大会が開催されました。

4回目となった今回は、但馬地域内の9支部から15チーム86人が参加しました。毎回参加の方も多数おら



れ、ホールインワンは大会史上最高の、19人が出されました。

この競技は8ホールを、少ない打数でまわることをめざします。但し、ホールインワンは最後に3点減らすので、勝敗に大きく関わります。

2ゲームした結果、優勝チームは合計244点でした。各支部で練習会をするなど、年々レベルアップしており、たじま医療生協での関心の高さがうかがえます。

集計待ちの時間は、15メートル先のホールポストに1打で入れることをめざす、「ホールインワンゲーム」が行われ、歓声があがっていました。当日は風が強く、表彰式の時には雨に見舞われましたが、競技は順調に行われました。「秋の大会はホールインワン出すで」と意気込みを語る方もおられ、笑い声が響く和やかな雰囲気の中、大会は幕を閉じました。

（通信員 春木圭介）

「福田わいわい祭り」で事業を紹介

6月9日(日)、福田小学校内にて、「第11回福田わいわい祭り」が開催されました。こちらは福田ふれあいのまちづくり協議会が主催される催しです。各種同好会による民踊やカラオケ、地域の子どもたちによるチアダンスやバトンなど様々な催しを行う文化的催しで、神戸市民生協は今回が初めての参加となります。



PR活動を熱心に行う生協職員

り、会場は多くの出演者や参加者の方々にぎわいました。神戸市民生協も医療共済・火災共済・交通災害共済・子ども共済を紹介した総合パンフレットを配布したほか、同時にティッシュやキャンデーの配布を行うなど、積極的な広報活動を行いました。立ち寄られた市民の方々からは「医療共済には高齢でも入れますか」「神戸市民生協の共済に加入していますよ」などのご質問やお声がけをいただきました。

神戸市民生協の医療共済は、この7月よりさらに高齢の方にも利用しやすく変わりました。今後も幅広い年代の方に知っていただけるように、地域に根差したPRを続けていきたいと思えます。

(通信員 鹿田裕子)

協同組合の仲間と交流し、未来を考えませんか

「兵庫における ポスト国際協同組合年を考える集い」



兵庫JCC創立30周年記念行事です。

次世代の職員が集い、お互いの事業と活動を知り、事業連携の可能性を切り拓きましょう。

- 日時 8月26日(月) 9時30分～17時 (JR明石駅集合)
- 内容 明石浦漁協競り市、JA直売所(六甲のめぐみ)、協同学苑史料館などを視察
- 対象 40歳までの会員生協 職員
- 定員 30人(先着順)
- 参加費 無料(昼食付)
- お申し込み・お問い合わせ 兵庫県生協連

電話：078-391-8634

*兵庫JCCは生協、JA(農協)、JF(漁協)、JForest(森林組合)の4つの協同組合が1984年に設立した兵庫県協同組合連絡協議会の略称です。

JF

(財)兵庫県水産振興基金

関西学院大学のゼミで漁業者が講演 ～水産物の魅力を知ってもらおうと学生らと交流～

6月18日(火)、西宮市の関西学院大学において摂津播磨地区漁協青壮年部連合会(大角 生馬会長)主催の「平成25年度 関西学院大学消費流通検討交流会」が開催されました。この会は、同大学文学部 田和 正孝教授と大角会長との間で話が持たれ、学生に漁業の現状を伝えるとともに、試食も踏まえて水産物の魅力を知ってもらうことを目的としたものです。

当日は田和教授のゼミ生(3回生)14名のほか、漁青連のメンバーらあわせて25名が教室に集まりました。大角会長は約1時間にわたり、普段の操業の様子にはじまり、資源保護の取り組みや、魚食普及・植樹活動とその考え方などについて話をし、「これからは魚を獲るだけでは駄目。資源管理や獲れた魚の販売方法など、今何が出来るのかを考えることが必要」と締めくくりました。また田和教授は「直接漁業者から話を聞くことは学生にとってとても貴重な体験。聞いた話は自分たちの環境や食文化を考えることに役立つ」とされ、今後も交流が続くことに期待をされました。

講義の後、学内の食堂での昼食となり、同漁青連が用意したシラス、アナゴ、ノリなどの加工品が並べられ、ゼミ生らはご飯の上に乗せて食べながら、意見交換を行いました。塩茹でしたエビなどは大好評で、試食をした同大学生協の担当者も「学食で使ってみたい」と高い評価をいただき、有意義な食事会となりました。

同漁青連では、今後、同大学と得た繋がりを生かして、意見交換やイベントなどで水産物のPRを行っていき、交流を深めたいとしています。



田和教授と討論する大角会長



どの料理も好評でした!

JA

JA グループ兵庫

兵庫県青協がTPPについて 意識調査を実施

兵庫県農協青壮年部協議会(水澤辰也委員長)は、6月15日、全国農協青年組織協議会のTPPにかかる全国一斉活動の一環として、JA兵庫六甲農産物直売所「パスカルさんだ一番館」において、地域住民を対象にTPPに関する意識調査を実施しました。

調査は、盟友が地域住民とともにTPPについて考えることを目的に100人を対象に実施しました。「TPPに賛成ですか、反対ですか」との問いには、約6割が「分からない」と回答。賛成は16%、反対は25%でした。TPPに関する情報開示、説明が不十分であることが浮き彫りになりました。また、「TPPに参加することによって、どのような影響があると思いますか」の問いには、5割が「輸入品の価格低下」をあげる一方で、5割が「食の安全性の低下」をあげ、食生活への影響に不安を感じていることが分かりました。

今回の調査を踏まえ、同協議会では、今後も地域住民とともに地域農業と食について考える活動に取り組むことにしています。



TPPに関する意識調査を実施する兵庫県青協の盟友



最近の消費生活相談事例

息子あてに届いた 債権回収会社の請求 ～代わりに支払わなくてはならないか～

事例

息子あてに債権回収会社から支払い請求通知が届いた。「債権を譲り受けた。支払い方法については話し合いで解決したいので3日以内に連絡するように。連絡がない場合、自宅に訪問する。また銀行口座、給与等を差し押さえの対象として回収する。」と記載がある。現在、息子とは連絡が取れない状態で私は連帯保証人にはなっていない。息子に代わって支払わなくてはならないか。

【アドバイス】

事例の場合、家族であっても保証人等になっていなければ支払う必要はありませんので、きっぱり断りましょう。

本人に対する請求についても、債権回収会社から請求を受けたが身に覚えがない、というケースがあります。架空請求の手段として債権回収会社をかたる場合もあるので注意が必要です。

債権回収会社とは、回収が困難になった債権を譲り受けたり、回収を請け負う事業者で、法務大臣の許可が必要です。たとえ債務があっても請求内容が不明なものは、まず請求してきた債権回収会社が法務大臣の許可を受けている事業者か確認してください。また名称が同じでも正規業者をかたっている場合もありますので、電話番号等の確認も必要です。

なお、「裁判所からの支払督促」や「少額訴訟の呼出状」と思われる場合は、書類の真偽の判断が難しいので、放置しないで消費生活センターに相談しましょう。

(兵庫県生活科学総合センター)

MOVE

地球のステージ

未来へ ともに

医師・桑山紀彦さんが体験した「地球の今」を、映像と語り、オリジナルの歌で綴るコンサート。どんな状況でも悲しみを笑顔に変える、人間の生きるエネルギーを、あなたの五感で感じてください。



と き：2013.8.24 (土)
13時開場 13時30分開演

ところ：コープこうべ生活文化センター 2階ホール
神戸市東灘区田中町 5-3-18 (JR 住吉駅下車南東へ徒歩 8分)

参加費：大人 1200円 (当日 1500円)
高校生以下 500円

お問い合わせ：地球のステージ神戸実行委員会 (兵庫県ユニセフ協会内)

電話 … 078-435-1605 FAX … 078-451-9830



What's 地球のステージ?

世界の貧困や紛争にあえぐ国々で医療支援や心のケアを行っている NPO 団体。世界中で起こる様々な災害時にも緊急支援を行っています。

2011.3.11、東日本大震災では直接津波の被害を受けましたが、直後から地元宮城県名取市で医療支援や心のケアを行い、現在も継続しています。

世界各地での経験を活かし、多くの人に世界の出来事を伝える「地球のステージ」公演は、1996年の初演から2500回を超えました。

編集後記

今年の「国際協同組合デー・兵庫県記念大会」は二宮尊徳7代目子孫、中桐万里子氏をお迎えしてご講演いただきました。私たち(私?)のイメージする「二宮金次郎」氏は、よく学校で見かけた銅像そのままの「薪を背負って本を読む少年」。しかし、講演の冒頭、「二宮金次郎は182cm、94kg」と聞いて、びっくり！イメージの思い込みというものを反省しました。☆さて、暑い毎日です。アイスクリームの誘惑と闘い、体重計が追いかけてくる夢を見ながら蒸し暑い夜を過ごしても、「夏バテ」「食欲不振」という言葉は私の「辞書」には見当たりません！みなさまもお身体を大切にお過ごしください。(中尾)



- 8月5日(月) 兵協連 第2回理事会 (県民会館 1201)
- 8月7日(水) 兵協連 ビースアクション2013 「広島被爆ピアノ平和コンサート」 (姫路 キャスパホール)
- 8月26日(月) 兵庫JCC創立30周年記念行事 「兵庫におけるポスト国際協同組合年を考える集い」 (明石・神戸・三木)

県連日誌